

設置計画の概要

事項	記 入 欄
設置手続きの種類	事前伺い
計画の区分	研究科の専攻の設置
フリガナ者	コリツダ'イガクホクジン リュウキョウ'イガク 国立大学法人 琉球大学
フリガナ大学の名称	リュウキョウ'イガク 琉球大学 (University of the Ryukyus)
新設学部等において養成する人材像	<p>【亜熱帯農学専攻】</p> <p>①沖縄の亜熱帯島嶼性という地理的・自然的環境及び歴史的・文化的特性に基づいた持続的食料生産、環境保全、資源・エネルギー利用及び新たな地域資源開発に基づく健康食品産業の振興・発展に関する教育と研究を深化させ、環境に調和した生物資源の安定的生産や利用について独創的に取り組み、亜熱帯農学で地域・国際社会に貢献するために、広範な知識と深化した専門性を併せ持つ高度専門職業人の養成。</p> <p>②亜熱帯の農林環境あるいは地域環境の保全と修復及び生命科学や生物資源の開発利用などの分野における幅広い体系的な基礎理論と応用力を兼ね備えた指導的能力並びに実践的開発能力を修得させる。</p> <p>③修了後の進路等については、各コースの③に記載のとおり。</p> <p><地域農学コース></p> <p>①地域農学コースにおいては、亜熱帯の地域社会における自然と農との調和に配慮した持続的農業や新たなフィールド活用型の総合的農学に関する教育・研究を通じて、学際的研究開発や指導的役割を担う高度専門職業人の養成。</p> <p>②地域農林畜産産業の振興に携わる指導的能力、並びに地域資源循環システムに基づく持続的農業生産の推進によって農と社会との共生を構築できる実践的開発能力を修得させる。</p> <p>③博士課程後期進学、農業・農学系教員、農林畜産産業の技術者・研究者、農林畜産産業自営、公園・緑化施工設計技術者、ランドスケープ設計技術者、農業経営経済の関連団体職員、農業経営コンサルタント等</p> <p><農林環境科学コース></p> <p>①農林環境科学コースにおいては、亜熱帯農林業を取巻く生物の諸特性解明と制御、増殖・調節技術の開発、並びに流域生態系の環境保全・管理と制御を通じて、人間と自然環境との調和を構築するための高度な専門知識・技術を有し、新たな農林環境保全のための農学に関する教育・研究を通じて、学際的研究開発や指導的役割を担う高度専門職業人の養成。</p> <p>②生物資源の機能特性解明を通じ生物や環境関連分野で活躍する指導的能力、並びに生物多様性の理論を通じて豊かな環境の確保と保全に貢献できる実践的開発能力を修得させる。</p> <p>③博士課程後期進学、農業・農学系教員、森林・緑化・土木関連団体の技術者・研究者、森林・加工関連団体の技術者・研究者、環境系コンサルタント・アセスメントの技術者、動植物生産・管理団体の技術者・研究者等</p> <p><地域農業工学コース></p> <p>①地域農業工学コースにおいては、亜熱帯の島嶼環境と調和した自然循環型農業や田園空間の創造、並びにIT農業の技術開発やバイオマス地域循環システムの構築のための高度な専門知識・技術を有し、新たな地域保全のための農学に関する教育・研究を通じて、学際的研究開発や指導的役割を担う高度専門職業人の養成。</p> <p>②農村環境整備と緑・土・水資源の保全と改善に貢献できる指導的能力、並びに情報技術を応用し、食料生産から流通・加工に係わる農業生産及びエネルギーシステムに関する社会的要求を総合的に問題解決できる実践的開発能力を修得させる。</p> <p>③博士課程後期進学、農業・農学系教員、農業土木・工学分野の技術者・研究者、森林・緑化・土木・関連団体の技術者・研究者、地域・防災計画設計技術者、バイオマスエネルギー関連産業の技術者等</p> <p><生物資源科学コース></p> <p>①生物資源科学コースにおいては、亜熱帯地域の動植物や微生物等の生物資源及び伝統食品・発酵食品・その他食資源の特性や機能性解析に関する新しい生物産業の創成のための高度な専門知識・技術を有し、新たな地域資源開発による健康と長寿のための農学に関する教育・研究を通じて、学際的研究開発や指導的役割を担う高度専門職業人の養成。</p> <p>②亜熱帯生物資源の機能分析・開発と高度利用に関する専門知識と技術を有する指導的能力、並びに生物資源関連産業、発酵産業及び健康・食品産業の振興・発展に貢献できる実践的開発能力を修得させる。</p> <p>③博士課程後期進学、農業・農学系教員、食品製造・加工・流通関連技術者、酒造・醸造開発者、化粧品・健康関連企業、生物資源利用開発分野の技術者・研究者、食品衛生管理等</p>
既設学部等において養成する人材像	<p>【生物生産学専攻】</p> <p>①熱帯・亜熱帯の豊富な自然環境下で展開される作物、家畜、森林等の農林生産、農業施設・機械及び農業経営経済に関する生物生産の基礎から応用段階までの広範囲な専門教育と研究によって、より高度な学問と技術を修得した研究者及び専門技術者の養成。</p> <p>②亜熱帯地域特有の生物多様性や亜熱帯の地理的環境を基礎に、農業振興と食糧生産に関する分野の基礎から応用までの専門的能力を修得させる。</p> <p>③博士課程後期進学、国県市町村の農林畜産分野の技術者・研究者、農業生産・管理団体法人・企業の技術者、バイオサイエンス関係団体法人・企業の技術者等</p> <p>【生産環境学専攻】</p> <p>①自然環境と調和した農業生産基盤の開発・整備及び豊かな生活環境の創出、並びに森林の生態と保全、動物の生理・生態及びそれらの効率的な管理に関する生産環境の広範囲な専門教育と研究によって、より高度な学問と技術を修得した研究者及び専門技術者の養成。</p> <p>②亜熱帯地域特有の生物多様性や亜熱帯の地理的環境を基礎に、地域環境保全と地域農業開発に関する分野の基礎から応用までの専門的能力を修得させる。</p> <p>③博士課程後期進学、国県市町村の農林畜産分野の技術者・研究者、農業生産・管理団体法人・企業の技術者、環境分析・アセスメント関連団体法人・企業の技術者等</p> <p>【生物資源科学専攻】</p> <p>①亜熱帯地域の動植物や微生物等の生物資源及び伝統食品・発酵食品・その他食資源の特性や機能性解析に関する新しい生物産業の創成、並びに新たな地域資源開発による健康と長寿に関する生産環境の広範囲な専門教育と研究によって、より高度な学問と技術を修得した研究者及び専門技術者の養成。</p> <p>②亜熱帯地域特有の生物多様性や亜熱帯の地理的環境を基礎に、生物資源の機能性と新たな生物資源・食品と地域農業開発に関する分野の基礎から応用までの専門的能力を修得させる。</p> <p>③博士課程後期進学、国県市町村の農林畜産分野の技術者・研究者、食品製造・加工・流通関連技術者、酒造・醸造開発者、化粧品・健康関連企業等</p>
新設学部等において取得可能な資格	<p>【亜熱帯農学専攻】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校教諭専修免許状(農業) ①国家資格 ②資格取得可能 ③1種免許状を既に取得している者で、教育職員免許法上の教科に関する科目として認定されている授業科目を修得し、かつ、修士課程を修了することが必要。
既設学部等において取得可能な資格	<p>【生物生産学専攻、生産環境学専攻、生物資源科学専攻】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校教諭専修免許状(農業) ①国家資格 ②資格取得可能 ③1種免許状を既に取得している者で、教育職員免許法上の教科に関する科目として認定されている授業科目を修得し、かつ、修士課程を修了することが必要。

新設学部等の概要	新設学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設時期	専任教員		
							学位又は称号	学位又は学科の分野		異動元		助教以上
	農学研究科	亜熱帯農学専攻	2	35	-	70	修士(農学)	農学関係	平成23年4月	生物生産学専攻	19	10
									生産環境学専攻	13	7	
									生物資源科学専攻	13	6	
									新規採用等	12	7	
									計	57	30	
（既設学部等の状況概要）	既設学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設時期	専任教員		
							学位又は称号	学位又は学科の分野		異動先		助教以上
	農学研究科	生物生産学専攻(廃止)	2	16	0	32	修士(農学)	農学関係	平成7年4月	亜熱帯農学専攻	19	10
									退職	2	2	
									計	21	12	
									亜熱帯農学専攻	13	7	
									退職	1	1	
									計	14	8	
									亜熱帯農学専攻	13	6	
									退職	1	1	
									計	14	7	
【備考欄】												

教育課程等の概要(事前伺い)

(亜熱帯農学専攻)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎教育科目	農学研究の方法	1前	1			○				3					オムニバス オムニバス
	亜熱帯農学特論	1前	2			○			14						
	農学研究の最前線	1後	2			○			14						
	プレゼンテーション演習	1・2後	1				○		3						
	亜熱帯農学特別演習Ⅰ	1前	1				○		5	5					
	亜熱帯農学特別演習Ⅱ	1後	1				○		5	5					
	小計(6科目)		8	0	0				30	16	0	0	0		
応用展開科目	亜熱帯農学特別研究Ⅰ	1前	2				○		30						
	亜熱帯農学特別研究Ⅱ	1後	2				○		30						
	亜熱帯農学特別研究Ⅲ	2前	2				○		30						
	亜熱帯農学特別研究Ⅳ	2後	2				○		30						
	小計(4科目)		8	0	0				30	0	0	0	0	0	
専門	地域農学コース	農業経済学特論	1・2前		2		○			1					
		森林政策学特論	1・2前		2		○			1					
		食料経済学特論	1・2後		2		○			1					
		森林経営計画学特論	1・2後		2		○			1					
		園芸学特論	1・2前		2		○			1					
		植物育種学特論	1・2前		2		○			1					
		花卉園芸育種論	1・2後		2		○			1					
		熱帯植物応用学特論	1・2後		2		○			1					
		家畜飼養栄養学特論	1・2前		2		○			1					
		熱帯草地学特論	1・2前		2		○			1					
		家畜行動管理学特論	1・2後		2		○			1					
		家畜環境衛生学特論	1・2後		2		○			1					
		栽培実践学特論	1・2前		2		○			1					
		家畜共生学特論	1・2前		2		○			1					
		植物共生学特論	1・2後		2		○			1					
		森林共生学特論	1・2後		2		○			1					
		熱帯生物資源学特論	1・2前		2		○							兼2 集中	
		熱帯森林資源学特論	1・2前		2		○							兼1 集中	
		小計(18科目)		0	36	0				8	8	0	0	0	
科目	農林環境科学コース	作物学特論	1・2前		2		○			1					
		植物病理学特論	1・2前		2		○			1					
		エネルギー作物学特論	1・2後		2		○			1					
		熱帯植物病理学特論	1・2後		2		○			1					
		動物育種学特論	1・2前		2		○			1					
		動物繁殖学特論	1・2後		2		○			1					
		生体機構学特論	1・2後		2		○			1					
		動物生理学特論	1・2前		2		○			1					
		造林学特論	1・2前		2		○			1					
		森林環境工学特論	1・2前		2		○			1					
		森林生態学特論	1・2後		2		○			1					
		森林環境保全学特論	1・2後		2		○			1					
		生態環境学特論	1・2前		2		○			1					
		保全生物学特論	1・2後		2		○			1					
		土壌環境科学特論	1・2前		2		○			1					
		植物生理生態学特論	1・2後		2		○			1					
		小計(16科目)		0	32	0				9	7	0	0	0	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門	生産基盤環境学特論	1・2後		2					1						
	水利環境学特論	1・2前		2					1						
	地盤工学特論	1・2前		2						1					
	土質改善学特論	1・2後		2						1					
	農地工学特論	1・2前		2					1						
	農村環境保全・防災学特論	1・2後		2						1					
	環境情報学特論	1・2後		2					1						
	生産システム工学特論	1・2前		2					1						
	農産施設工学特論	1・2前		2					1						
	農業情報工学特論	1・2後		2						1					
	食品工学特論	1・2後		2						1					
小計 (11科目)	—	—	0	22	0	—	—	6	5	0	0	0			
科目	生理活性物質学特論	1・2前		2					1						
	食品化学特論	1・2前		2						1					
	栄養生化学特論	1・2前		2						1					
	食品生物学特論	1・2前		2						1					
	微生物機能学特論	1・2後		2					1						
	応用生物化学特論	1・2後		2					1						
	生物資源利用科学特論	1・2後		2						1					
	生体高分子化学特論	1・2後		2					1						
	糖鎖生命化学特論	1・2前		2					1						
	遺伝子工学特論	1・2前		2						1					
	生物資源利用化学特論	1・2前		2						1					
	林産化学特論	1・2前		2					1						
	遺伝資源応用学特論	1・2前		2										兼1	
	食品分析学特論	1・2後		2					1						
	生命科学特論	1・2後		2						1					
小計 (15科目)	—	—	0	30	0	—	—	7	7	0	0	0	兼1	—	
小計 (60科目)	—	—	0	120	0	—	—	30	27	0	0	0	兼4	—	
(亜熱帯実践農学カリキュラム)	地域実践農学論	1前		2					8						
	地域農業概説	1後		2					8						
	亜熱帯地域農学セミナーⅠ	2前		1					14	14					
	亜熱帯地域農学セミナーⅡ	2後		1					14	14					
	亜熱帯地域農学セミナーⅢ	3前		1					14	14					
	亜熱帯地域農学セミナーⅣ	3後		1					14	14					
小計 (6科目)	—	—	0	8	0	—	—	14	14	0	0	0			
(付加国際農学プログラム科目)	Tropical Bioproduction (熱帯生物資源生産学)	1・2前		2										兼2	集中
	熱帯実践農学論	1・2前		2					5						
	熱帯地域農学セミナー	1・2後		1					5						集中
	熱帯農学キャリア実習	1・2後		2					5						集中
	熱帯地域農業概説	1・2後		1					5						集中
小計 (5科目)	—	—	0	8	0	—	—	5	0	0	0	0	兼2		
合計 (81科目)		—	16	136	0	—	—	30	27	0	0	0	兼4	—	
学位又は称号	修士 (農学)		学位又は学科の分野				農学関係								

I. 設置の趣旨・必要性

琉球大学は、亜熱帯地域に属する我が国で唯一の国立大学であり、中期目標の大学像において「地域特性に根差した国際性豊かなアジア・太平洋地域の卓越した教育研究拠点大学」を将来像としている。また、開学当初から研究成果を地域に還元し、普及させ、地域に貢献する大学を目指し、それが今日まで継承され、「地域・国際社会への貢献」として本学の基本理念の1つに掲げられている。

本学農学研究科は、昭和52年に設置（農学専攻、農芸化学専攻、畜産学専攻）され、その後、林学専攻と農工学専攻を加え、平成7年の改組（生物生産学、生産環境学、生物資源科学の3専攻）を経て現在に至っており、これまでに離島を含む地域の農林畜産業への生産効率向上のための新技術の導入、農産物の県外出荷システム改善による産業振興などの成果を地域に還元してきた。

その中であって、平成11年に制定された「食料・農業・農村基本法」で「食料の安定供給の確保」、「多面的機能の発揮」、「農業の持続的な発展」、「農村の振興」が基本理念として示されたことや、平成14～23年における「沖縄振興開発計画後期」（内閣府）では、

①亜熱帯性気候特性等を活かした農林水産業振興のための「おきなわブランド」の確立、環境と調和した持続型農林水産業への取組、並びにIT、バイオ、環境、健康、食品工業等の分野における農林資源の総合的研究開発の推進

②農業の多面的機能を活かした農山漁村振興のための地域資源の適正な管理・活用

③希少な野生生物の保護管理など生物多様性の確保

④都市・農山漁村の総合的整備や自然と調和した災害に強い県土づくりの推進

等が謳われており、本研究科では、このような新たな農学や地域農業の課題に対し、環境情報学特論、分子育種学特論、島嶼動物学特論、熱帯資源生物学特論等の科目を新たに開講し、情報、バイオ技術、熱帯植物生産、亜熱帯動物等の専門領域に特化したコースワーク編成や講座教員による組織的指導体制の改善を図る等して、社会や地域のニーズに対応してきた。

しかしながら、地球規模では、開発途上地域や熱帯・亜熱帯地域における人口の急増、食糧生産力の低下、生物多様性の低下、自然環境の破壊と地球温暖化など人類の生存に関わる状況が進行し、国内では、食料自給率の低下、農業就業人口の減少、農村地域の活力低下といった問題が顕在化するなど、世界や国内を取り巻く農業事情は大きく変化している。

これを受けて、農学分野では近年の諸課題の解決のために、新たな農学教育の展開が希求されており、日本学術会議対外報告「農学教育のあり方」（平成20年4月）では『これからの農学に求められているのは、これまでの専門分化した科学知の領域を越えて、地球規模で新たな知的創造活動を展開し、新たな知の体系化を図ること』が提唱されている。

また、沖縄県を含む亜熱帯地域の農業について、気象的要因（台風・気温・湿度等）、土壌的要因（酸性土壌・貧栄養土壌等）、経営・経済的要因（小規模経営・低収入等）等及び温帯地域の高度技術の不適用等による農作物の安定生産や定品質の確保の困難性といった各分野にまたがる様々な問題を統合的に解決するための新たな教育研究が求められており、これに対応するには、従来の教育研究分野や領域の基礎となる共通的な科目を学修し、農学に関する幅広い知識を修得するとともに、より専門的な知識を修得する必要がある。

このような世界や国内を取り巻く農業事情の変化やこれからの農学教育のあり方を踏まえ、沖縄県を含む亜熱帯地域の農業に関する様々な課題や問題に対応するには、沖縄の亜熱帯島嶼性という地理的・自然的環境及び歴史的・文化的特性に基づいた持続的食料生産、環境保全、資源・エネルギー利用及び長寿・健康に関する教育と研究を深化させ、環境に調和した生物資源の安定的生産や持続的利用に独創的に取り組むとともに、亜熱帯農学の幅広い分野を網羅した体系的な教育プログラムを編成し、実践できる効果的な教育組織が必要であり、また、これまで本研究科が培ってきた研究の成果を活かすことも考慮した上で、農学に関する総合的な知識と沖縄県を含む亜熱帯地域の農業に関する課題に対応できる専門的な能力を涵養するため、現行の3専攻を統合し「亜熱帯農学専攻」を設置することとした。

この改組計画については、学生・採用企業等に事前に意見聴取をしており、下記の通り賛同が得られている。

学部学生：平成21年度に改組を行った新農学部学生からは、新農学部の亜熱帯に特化したカリキュラムに対する評価が高く、また、進学を希望する旧学部学生の約74%が、新農学部に関連した研究科への改組を望んでいる。

加えて、大学院修了時に修得したい能力として約70%の学生が広範な知識、多様な社会への適応力あるいは、専門性を維持したうえでの広範な知識と応用力を修得したいと考えている。

企業等：本学農学研究科の修了生を採用する際、修了生に求める能力について、企業の約64%が広範な知識と技能を有する人材あるいは、これに加えて専門的な知識を兼ね備えた人材を採用したいと考えている。

新専攻が掲げる人材像には、亜熱帯農学で地域・国際社会に貢献できる広範な知識と深化した専門性を兼備した高度専門職業人の養成とあることや、本学の研究科への進学を希望する学部学生の意向を見ると大半の学生が農学部新学科に関連した改組を望んでいること等を踏まえて、

① 持続的食料生産と地域農業を追究する「地域農学」

② 熱帯・亜熱帯の生物機能特性解明と農林環境・生態系保全を追究する「農林環境科学」

③ 新たな農業システムとそれを支える地域環境・農業基盤保全を追究する「地域農業工学」

④ 熱帯・亜熱帯の地域生物資源の有効利用と健康・生命現象の探究を追究する「生物資源科学」

という4つのコースを亜熱帯農学専攻の下に置くこととし、学生の多様な能力の修得とより具体的な課題に対応する。

これにより、沖縄と気候的に類似するアジア・太平洋地域も視野に入れた教育・研究も可能となり、国際社会に貢献できる優秀な人材を養成することができ、ひいては沖縄県の地域農業の発展にも貢献できることとなる。

なお、本学では、平成21年度に新農学部を設置した際、新農学研究科の設置については新農学部設置当初から農学部と農学研究科との接続を重視し、新農学部の完成年度（平成24年度）翌年の平成25年度に行うこととしていたが、新研究科の設置については旧農学部学生からも理解が得られていることや、新研究科による教育研究組織の構築とニーズに応えられる人材の養成を速やかに行うことが大学としての責任であるとの考えから、平成23年度に新農学研究科を設置することとした。

II 教育課程編成の考え方・特色

「新時代の大学院教育（平成17年、中央教育審議会答申）」では、高度専門職業人の養成に必要な教育には、「理論的知識や能力を基礎として、実務にそれらに応用する能力が身に付く体系的な教育課程が求められる」とされており、コースワークの充実・強化には、「社会のニーズに対応した人材の養成を行うためには、学修課題を複数の科目等を通して体系的に履修するコースワークを充実し、関連する分野の基礎的素養の涵養等を図っていくことが重要である。」とされている。

また、日本学術会議が提言する「農学教育のあり方（平成20年）」の中では、「これからの農学に求められる課題は、これまでの専門分化した科学知の領域を越えて、地球規模での困難な課題を解決するための新たな知的創造活動を展開し、新たな知の体系化を図ることである」とされ、幅広い分野を網羅するように展開している農学、及び社会の多様な変動に機動的かつ柔軟に対応できる教育課程が求められている。

これらを受けて、新研究科における教育課程の編成に当たっては、

- ① 亜熱帯地域の課題解決へ向けた新たな農学教育の専門教育科目の整備
 - ② 広範な知識・技能と応用展開力の修得と農学の専門的な知識の修得をもたらす体系的なコースワークの充実
 - ③ 高度専門職業人の効果的な養成と幅広い分野の複数の教員による組織的指導体制の確立
- の各項目の考え方を組み入れた。

亜熱帯農学専攻を支える4つの専門教育コースでは、これらの考え方に基づき、1年次に基礎教育科目として、幅広く、かつ先端的な農学の知識を修得し、1年次から2年次には専門教育コースが提供する専門科目と展開用科目である特別研究を開講する。

専門科目では、14単位（選択必修）のうち、学生が選択した専門教育コース提供の専門科目から8単位以上を履修することによって、専門分野に関する高度の専門的知識及び能力を修得させると共に、学生が修得した専門的知識・能力を広範な農学分野に応用展開できる能力を涵養するため、他コース提供の専門科目から当該専門分野に関連する科目を履修することを学生に指導する。

これにより、各専門教育コースにおける教育研究の目的が達成できる。

各専門教育コースにおいて養成する人材像と修得させる能力及びコースワークに沿った履修のモデルにかかる具体例は次のとおりである。

※ 各専門教育コースにおける履修のモデル例

A. 地域農学コース

養成する人材像：

亜熱帯の地域社会における自然と農との調和に配慮した持続的農業や新たなフィールド活用型の総合的農学に関する教育・研究を通じて、学際的研究開発や指導的役割を担う高度専門職業人の養成。

修得させる能力：

地域農林畜産業の振興に携わる指導的能力、並びに地域資源循環システムに基づく持続的農業生産の推進によって農と社会との共生を構築できる実践的開発能力を修得させる。

＜地域植物資源の開発と栽培管理を修得する履修モデル＞

	基礎教育科目		専門科目		応用展開科目		履修単位
一年次前期	農学研究の方法	1	園芸学特論	2	亜熱帯農学特別研究Ⅰ	2	12
	亜熱帯農学特論	2	植物育種学特論	2			
	亜熱帯農学特別演習Ⅰ	1	作物学	2			
一年次後期	農学研究の最前線	2	花卉園芸育種論	2	亜熱帯農学特別研究Ⅱ	2	10
	プレゼンテーション演習	1	熱帯植物応用学特論	2			
	亜熱帯農学特別演習Ⅱ	1					
二年次前期			植物共生学特論	2	亜熱帯農学特別研究Ⅲ	2	6
			遺伝子工学特論	2			
二年次後期					亜熱帯農学特別研究Ⅳ	2	2
履修単位		8		14		8	30

『農学に関する広範な知識と応用力』を身に付ける

- 1) 農学の基礎知識および高度な専門知識を修得し、課題探究能力と応用展開力を身に付ける。
- 2) 人間社会あるいは地球環境において農業が果たす役割について説明することができる。
- 3) 農学を通じての技術者倫理・情報リテラシー・統計解析を理解し、活用できる。
- 4) 農学研究における最新情報・技術開発を理解し、自らの教育研究に活用できる。

- 1) フィールド型の園芸・食用作物の生産技術および栽培管理の知識・理論・技術を活用できる。
- 2) 組織培養による植物の増殖、植物育種や生物工学手法で新品種育成を作出する知識・方法を活用できる。

植物生産科学分野の専門知識を応用展開することができる。

■：塗りつぶし科目は他コース提供科目

B. 農林環境科学コース

養成する人材像：

亜熱帯農林業を取巻く生物の諸特性解明と制御，増殖・調節技術の開発，並びに流域生態系の環境保全・管理と制御を通じて，人間と自然環境との調和を構築するための高度な専門知識・技術を有し，新たな農林環境保全のための農学に関する教育研究を通じて，学際的研究開発や指導的役割を担う高度専門職業人の養成。

修得させる能力：

生物資源の機能特性解明を通じ生物や環境関連分野で活躍する指導的能力，並びに生物多様性の理論を通じて豊かな環境の確保と保全に貢献できる実践的開発能力を修得させる。

< 森林生態系の構造と機能解明による流域管理を修得する履修モデル >

	基礎教育科目		専門科目		応用展開科目		履修単位
一年次前期	農学研究の方法	1	造林学特論	2	亜熱帯農学特別研究Ⅰ	2	10
	亜熱帯農学特論	2	森林環境工学特論	2			
	亜熱帯農学特別演習Ⅰ	1					
一年次後期	農学研究の最前線	2	森林生態学特論	2	亜熱帯農学特別研究Ⅱ	2	12
	プレゼンテーション演習	1	森林環境保全学特論	2			
	亜熱帯農学特別演習Ⅱ	1	森林経営計画学特論	2			
二年次前期			森林政策学特論	2	亜熱帯農学特別研究Ⅲ	2	6
			森林共生学特論	2			
二年次後期					亜熱帯農学特別研究Ⅳ	2	2
履修単位		8		14		8	30

『農学に関する広範な知識と応用力』を身に付ける

- 1) 農学の基礎知識および高度な専門知識を修得し，課題探究能力と応用展開力を身に付ける。
- 2) 人間社会あるいは地球環境において農業が果たす役割について説明することができる。
- 3) 農学を通じての技術者倫理・情報リテラシー・統計解析を理解し，活用できる。
- 4) 農学研究における最新情報，技術開発を理解し，自らの教育研究に活用できる。

- 1) 流域生態系の保全の理論に基づく森林の生産管理技術を活用できる。
- 2) 森林の生態と機能を理解し，森林の持続的利用のための森林管理技術者として活躍できる。

森林環境科学分野の専門知識を応用展開することができる。

塗りつぶし科目は他コース提供科目

C. 地域農業工学コース

養成する人材像：

亜熱帯の島嶼環境と調和した自然循環型農業や田園空間の創造，並びにIT農業の技術開発やバイオマス地域循環システムの構築のための高度な専門知識・技術を有し，新たな地域保全のための農学に関する教育・研究を通じて，学際的研究開発や指導的役割を担う高度専門職業人の養成。

修得させる能力：

農村環境整備と緑・土・水資源の保全と改善に貢献できる指導的能力，並びに情報技術を応用し，食料生産から流通・加工に係わる農業生産及びエネルギーシステムに関する社会的要求を総合的に問題解決できる実践的開発能力を修得させる。

< 新たな農業生産システム構築とバイオエネルギー利用を修得する履修モデル >

	基礎教育科目		専門科目		応用展開科目		履修単位
一年次前期	農学研究の方法	1	生産システム工学特論	2	亜熱帯農学特別研究Ⅰ	2	10
	亜熱帯農学特論	2	エネルギー作物学特論	2			
	亜熱帯農学特別演習Ⅰ	1					
一年次後期	農学研究の最前線	2	食品分析学特論	2	亜熱帯農学特別研究Ⅱ	2	12
	プレゼンテーション演習	1	食品工学特論	2			
	亜熱帯農学特別演習Ⅱ	1	農業情報工学特論	2			
二年次前期			食品化学特論	2	亜熱帯農学特別研究Ⅲ	2	4
二年次後期			環境情報学特論	2	亜熱帯農学特別研究Ⅳ	2	4
履修単位		8		14		8	30

『農学に関する広範な知識と応用力』を身に付ける

- 1) 農学の基礎知識および高度な専門知識を修得し，課題探究能力と応用展開力を身に付ける。
- 2) 人間社会あるいは地球環境において農業が果たす役割について説明することができる。
- 3) 農学を通じての技術者倫理・情報リテラシー・統計解析を理解し，活用できる。
- 4) 農学研究における最新情報，技術開発を理解し，自らの教育研究に活用できる。

- 1) 食料生産から流通・加工に係わる農業生産システムについての理論・技術を活用できる。
- 2) 農業ITシステムやバイオマスと自然からのエネルギーの開発や利用に関する理論・技術を活用できる。

バイオシステム工学分野の専門知識を応用展開することができる。

塗りつぶし科目は他コース提供科目

D. 生物資源科学コース

養成する人材像：

亜熱帯地域の動植物や微生物等の生物資源及び伝統食品・発酵食品・その他食資源の特性や機能性解析に関する新しい生物産業の創成のための高度な専門知識・技術を有し、新たな地域資源開発による健康と長寿のための農学に関する教育・研究を通じて、学際的研究開発や指導的役割を担う高度専門職業人の養成。

修得させる能力：

亜熱帯生物資源の機能分析・開発と高度利用に関する専門知識と技術を有する指導的能力、並びに生物資源関連産業、発酵産業及び健康・食品産業の振興・発展に貢献できる実践的開発能力を修得させる。

< 発酵と生命現象の解析・応用を修得する履修モデル >

	基礎教育科目		専門科目		応用展開科目		履修単位
一年次前期	農学研究の方法 亜熱帯農学特論 亜熱帯農学特別演習Ⅰ	1 2 1	食品生物学特論 遺伝子工学特論	2 2	亜熱帯農学特別研究Ⅰ	2	10
一年次後期	農学研究の最前線 プレゼンテーション演習 亜熱帯農学特別演習Ⅱ	2 1 1	微生物機能学特論 応用生物化学特論 生命科学特論	2 2 2	亜熱帯農学特別研究Ⅱ	2	12
二年次前期			生物資源利用化学特論	2	亜熱帯農学特別研究Ⅲ	2	4
二年次後期			食品工学特論	2	亜熱帯農学特別研究Ⅳ	2	4
履修単位		8		14		8	30

『農学に関する広範な知識と応用力』を身に付ける

- 1) 農学の基礎知識および高度な専門知識を修得し、課題探究能力と応用展開力を身に付ける。
- 2) 人間社会あるいは地球環境において農業が果たす役割について説明することができる。
- 3) 農学を通じての技術者倫理・情報リテラシー・統計解析を理解し、活用できる。
- 4) 農学研究における最新情報・技術開発を理解し、自らの教育研究に活用できる。

生命科学現象の理論と解析、並びに発酵生産などへの応用技術を活用できる。

発酵生命科学分野の専門知識を応用展開することができる。

■ : 塗りつぶし科目は他コース提供科目

また、社会人のリカレント教育のため、亜熱帯実践農学カリキュラムとして、地域農業あるいは新たな農学の識見を涵養するための科目（6科目）を開講し、長期履修制度に沿った教育課程の編成を可能としている。

本カリキュラムでは、1年次には、基礎教育科目と専門教育科目の履修を優先的に行い、亜熱帯農学専攻としての教育目標に応じた履修を行ったうえ、2年次以降には、社会人学生の専門性を勘案した内容とする。具体的には、1年次に、沖縄を含む亜熱帯地域の農業概観と特徴を解説する「地域農業概説」、地域資源を活用したアグリビジネスにつながる実践事例の理論的解析を解説する「地域実践農学論」を履修する。また、2年次以降に、社会人学生の専門性に準じて、課題探究型の演習内容をⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳと段階的に履修する「亜熱帯地域農学セミナーⅠ～Ⅳ」を開講する。加えて、応用展開科目としての「特別研究Ⅰ～Ⅳ」についても、2、3年次で履修することとする。

付加プログラムとして、国際農学プログラムを設置する。本プログラムはアジア・太平洋地域を拠点とする熱帯・亜熱帯の農林業の発展に寄与できる高度な専門知識・技術の習得、食・農・環境・資源の課題に関する教育・研究を専門教育コースに付加して行う実体験型プログラムである。ここでは、新たな農学を国際的な視点から先導的に推進できる力を養うための科目（5科目）を開講する。ただし、このプログラムで取得した単位は修了要件には含まれない。

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
(修了要件) 大学院に2年以上在学し、下記履修方法により30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受け、修士論文研究の成果の審査及び試験に合格すること。	1 学年の学期区分	2 学期
(履修方法) 基礎教育科目8単位（必修）、応用展開科目8単位（必修）、専門科目については、他のコースが提供する専門科目と合わせて14単位（選択必修）以上、合計30単位以上を修得すること。 ただし、専門科目は学生の選択したコースが提供する専門科目から8単位以上を修得すること。	1 学期の授業期間	1 5 週
	1 時限の授業時間	9 0 分

教育課程等の概要(事前伺い)

(生物生産学専攻:既設)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎教育科目	農学研究の方法	1前	2			○			5						オムニバス
	生物生産学特論	1前	2			○			1						
	小計(2科目)	—	4			—			5	0	0	0	0		
専門教育科目・展開教育科目	熱帯植物生産学講座														
	園芸学特論Ⅰ	1前		2		○			1	1					
	園芸学特論Ⅱ	1後		2		○			1	1					
	作物学特論Ⅰ	1前		2		○			1	1					
	作物学特論Ⅱ	1後		2		○			1	1					
	植物病理学特論Ⅰ	1前		2		○			1	1					
	植物病理学特論Ⅱ	1後		2		○			1	1					
	園芸学特別演習Ⅰ	1前		1			○		1	1					
	園芸学特別演習Ⅱ	1後		1			○		1	1					
	作物学特別演習Ⅰ	1前		1			○		1	1					
	作物学特別演習Ⅱ	1後		1			○		1	1					
	植物病理学特別演習Ⅰ	1前		1			○		1	1					
	植物病理学特別演習Ⅱ	1後		1			○		1	1					
	熱帯植物生産学大学院特別講義Ⅰ	1・2前		2		○									兼1 集中
	熱帯植物生産学大学院特別講義Ⅱ	1・2後		2		○									兼1 集中
	熱帯植物生産学特別研究Ⅰ	1前		2			○		3	3					
	熱帯植物生産学特別研究Ⅱ	1後		2			○		3	3					
熱帯植物生産学特別研究Ⅲ	2前		2			○		3	3						
熱帯植物生産学特別研究Ⅳ	2後		2			○		3	3						
小計(18科目)	—		8	22		—			3	3	0	0	0	兼2	
専門教育科目・展開教育科目	育種学講座														
	育種・繁殖学特論	1前		2		○			1						
	植物育種学特論Ⅰ	1前		2		○			1						
	動物育種学特論Ⅰ	1前		2		○			1						
	家畜繁殖学特論	1前		2		○			1						
	分子育種学特論	1後		2		○									兼1
	植物育種学特論Ⅱ	1後		2		○			1						
	動物育種学特論Ⅱ	1後		2		○			1						
	育種学特別演習Ⅰ	1前		1			○		3						兼1
	育種学特別演習Ⅱ	1後		1			○		3						兼1
	育種学特別演習Ⅲ	2前		1			○		3						兼1
	育種学特別演習Ⅳ	2後		1			○		3						兼1
	育種学特別研究Ⅰ	1前		2			○		3						兼1
	育種学特別研究Ⅱ	1後		2			○		3						兼1
	育種学特別研究Ⅲ	2前		2			○		3						兼1
	育種学特別研究Ⅳ	2後		2			○		3						兼1
	育種学大学院特別講義Ⅰ	1・2前		2		○									兼1 集中
育種学大学院特別講義Ⅱ	1・2後		2		○									兼1 集中	
小計(17科目)	—		10	20		—			3	0	0	0	0	兼3	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門 教育 科目 ・ 展 開 教 育 科 目	家畜生産学講座															
	家畜栄養学特論	1前	2			○			1							
	家畜管理学特論	1後	2			○				1						
	家畜衛生学特論	1後	2			○			1							
	家畜環境学特論	1前	2			○			1							
	熱帯草地学特論	1前	2			○			1							
	家畜生産学特別演習Ⅰ	1前	1				○		2	1						
	家畜生産学特別演習Ⅱ	1後	1				○		2	1						
	家畜生産学特別演習Ⅲ	2前	1				○		2	1						
	家畜生産学特別演習Ⅳ	2後	1				○		2	1						
	家畜生産学大学院特別講義Ⅰ	1・2前		2		○									兼1	集中
	家畜生産学大学院特別講義Ⅱ	1・2後		2		○									兼1	集中
	家畜生産学特別研究Ⅰ	1前	2				○		1							
	家畜生産学特別研究Ⅱ	1後	2				○		1							
	家畜生産学特別研究Ⅲ	2前	2				○		1							
家畜生産学特別研究Ⅳ	2後	2				○		1								
小計（15科目）	—	—	22	4			—	3	1	0	0	0	0	兼2		
専門 教育 科目 ・ 展 開 教 育 科 目	生産システム工学講座 (農業機械学分野)															
	農業機械学特論	1前		2		○			1							
	生産システム・情報工学特論	2前		2		○				1						
	農業機械学特別演習Ⅰ	1前		1			○		1							
	農業機械学特別演習Ⅱ	1後		1			○		1							
	生産システム・情報工学特別演習Ⅰ	2前		1			○			1						
	生産システム・情報工学特別演習Ⅱ	2後		1			○			1						
	(農産施設工学分野)															
	農産施設工学特論	1前		2		○				1						
	流通工学特論	2前		2		○			1							
	農産施設工学特別演習Ⅰ	1前		1			○			1						
	農産施設工学特別演習Ⅱ	1後		1			○			1						
	流通工学特別演習Ⅰ	2前		1			○		1							
	流通工学特別演習Ⅱ	2後		1			○		1							
	(分野共通)															
生産システム工学特別研究Ⅰ	1前		2			○		2	2							
生産システム工学特別研究Ⅱ	1後		2			○		2	2							
生産システム工学特別研究Ⅲ	2前		2			○		2	2							
生産システム工学特別研究Ⅳ	2後		2			○		2	2							
生産システム工学大学院特別講義Ⅰ	1・2前			2		○								兼1	集中	
生産システム工学大学院特別講義Ⅱ	1・2後			2		○								兼1	集中	
小計（18科目）	—	—	8	20			—	3	2	0	0	0	0	兼2		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目・ 展開教育科目	農林経営学講座 (農業経済学コース)														
	農業経済学特論	1前		2		○			1						
	農業経営学特論	1後		2		○			1						
	農業政策学特論	2前		2		○			1						
	農業経済学特別演習Ⅰ	1前		1			○		1						
	農業経済学特別演習Ⅱ	1後		1			○			1					
	農業経済学特別演習Ⅲ	2前		1			○			1					
	農業経済学特別演習Ⅳ	2後		1			○		1						
	(森林経営経済学コース)														
	森林経済学特論	2前		2		○			1						
	森林経営計画学特論	1後		2		○			1						
	森林政策学特論	1前		2		○			1						
	森林経営経済学特別演習Ⅰ	1前		1			○		1	1					
	森林経営経済学特別演習Ⅱ	1後		1			○		1	1					
	森林経営経済学特別演習Ⅲ	2前		1			○		1	1					
	森林経営経済学特別演習Ⅳ	2後		1			○		1	1					
	(コース共通)														
	農林経営学特別研究Ⅰ	1前		2			○		2	2					
	農林経営学特別研究Ⅱ	1後		2			○		2	2					
	農林経営学特別研究Ⅲ	2前		2			○		2	2					
農林経営学特別研究Ⅳ	2後		2			○		1	1						
農林経営学大学院特別講義Ⅰ	1・2前		2		○									兼1 集中	
農林経営学大学院特別講義Ⅱ	1・2後		2		○									兼1 集中	
(小計20科目)	—		8	24			—	3	2	0	0	0		兼2	
専門教育科目	AdvancedCropProduction &Breeding(応用作物栽培育種学)	1・2前		2		○			1						
	情報学特論	1前		2		○			1						
	統計解析学特論	1前		2		○			1						
	フィールド特別実習Ⅰ	1前		1			○			1					
	フィールド特別実習Ⅱ	1後		1			○			1					
	熱帯生物資源学特論Ⅰ	1前		2		○								兼1	
	熱帯生物資源学特論Ⅱ	1前		2		○								兼1	
	熱帯森林資源学特論Ⅰ	1前		2		○								兼1	
	熱帯森林資源学特論Ⅱ	1前		2		○								兼1	
小計(9科目)	—		0	16	0		—	2	2	0	0	0		兼2	
合計(99科目)			—	60	106		—	13	9	0	0	0		兼13	
修士(農学)			学位又は学科の分野				農学関係								

教育課程等の概要(事前伺い)

(生物資源科学専攻：既設)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎教育科目	農学研究の方法	1前	2			○			3						オムニバス
	生物資源科学特論	1前	2			○			1						
	小計(2科目)	—	4			—			4	0	0	0	0		
専門教育科目・展開教育科目	生物機能開発学講座														
	微生物機能学特論	1後	2			○			1						
	遺伝子工学特論	2前	2			○				1					
	生理活性物質学特論	1前	2			○			1						
	生物機能制御学特論	1後	2			○				1					
	生物機能開発学特別演習Ⅰ	1前	1				○		2	2					
	生物機能開発学特別演習Ⅱ	1後	1				○		2	2					
	生物機能開発学特別演習Ⅲ	2前	1				○		2	2					
	生物機能開発学特別演習Ⅳ	2後	1				○		2	2					
	生物機能開発学大学院特別講義Ⅰ	1・2前		2		○									兼1 集中
	生物機能開発学大学院特別講義Ⅱ	1・2後		2		○									兼1 集中
	生物機能開発学特別研究Ⅰ	1前	2				○		2						
	生物機能開発学特別研究Ⅱ	1後	2				○		2						
	生物機能開発学特別研究Ⅲ	2前	2				○		2						
生物機能開発学特別研究Ⅳ	2後	2				○		2							
小計(14科目)	—	20	4			—			2	2	0	0	0	兼2	
専門教育科目・展開教育科目	応用生物化学講座														
	生物化学特論Ⅰ	1後		2		○			1						
	生物化学特論Ⅱ	2前		2		○				1					
	食品化学特論Ⅰ	1前		2		○				1					
	食品化学特論Ⅱ	1後		2		○			1						
	食品生物学特論	2前		2		○				1					
	応用生物化学大学院特別講義Ⅰ	1・2前		2		○									兼1 集中
	応用生物化学大学院特別講義Ⅱ	1・2後		2		○									兼1 集中
	応用生物化学特別演習Ⅰ	1前	1				○		2	3					
	応用生物化学特別演習Ⅱ	1後	1				○		2	3					
	応用生物化学特別演習Ⅲ	2前	1				○		2	3					
	応用生物化学特別演習Ⅳ	2後	1				○		2	3					
	応用生物化学特別研究Ⅰ	1前	2				○		2						
	応用生物化学特別研究Ⅱ	1後	2				○		2						
応用生物化学特別研究Ⅲ	2前	2				○		2							
応用生物化学特別研究Ⅳ	2後	2				○		2							
小計(15科目)	—	12	14			—			2	3	0	0	0	兼2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目・ 展開教育科目	生物資源利用科学講座															
	糖鎖生命科学特論	2前		2		○			1							
	生物資源利用化学特論	1前		2		○				1						
	林産化学特論	2前		2		○			1							
	生物資源利用科学特論	1後		2		○				1						
	生体高分子化学特論	1後		2		○			1							
	生物資源利用科学特別演習Ⅰ	1前		1			○		3	2						
	生物資源利用科学特別演習Ⅱ	1後		1			○		3	2						
	生物資源利用科学特別演習Ⅲ	2前		1			○		3	2						
	生物資源利用科学特別演習Ⅳ	2後		1			○		3	2						
	高分子ゲル特別講義	1・2前		2		○									兼1	集中
	生物資源利用科学大学院特別講義Ⅱ	1・2後		2		○									兼1	集中
	生物資源利用科学特別研究Ⅰ	1前		2			○		3							
	生物資源利用科学特別研究Ⅱ	1後		2			○		3							
	生物資源利用科学特別研究Ⅲ	2前		2			○		3							
生物資源利用科学特別研究Ⅳ	2前		2			○		3								
小計（15科目）	—		8	18			—	3	2	0	0	0		兼2		
専門教育科目	AdvancedCropProduction &Breeding(応用作物栽培育種学)	1・2前		2		○				1						
	情報学特論	1前		2		○			1							
	統計解析学特論	1前		2		○			1							
	フィールド特別実習Ⅰ	1前		1			○			1						
	フィールド特別実習Ⅱ	1後		1			○			1						
	熱帯生物資源学特論Ⅰ	1前		2		○									兼1	
	熱帯生物資源学特論Ⅱ	1前		2		○									兼1	
	熱帯森林資源学特論Ⅰ	1前		2		○									兼1	
	熱帯森林資源学特論Ⅱ	1前		2		○									兼1	
小計（9科目）	—		0	16			—	2	2	0	0	0		兼2		
合計（53科目）		—	44	52			—	7	7	0	0	0		兼8		
学位又は称号	修士（農学）		学位又は学科の分野				農学関係									

教育課程等の概要(事前伺い)

(生産環境学専攻：既設)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎教育科目	農学研究の方法	1前	2			○			4						オムニバス
	生産環境学特論	1前	2			○			1						
	小計(2科目)	—	4			—			5	0	0	0	0		
専門教育科目・ 展開教育科目	生産基盤工学講座														
	水利環境学特論Ⅰ	1前	2			○			1						
	水利環境学特論Ⅱ	2前	2			○			1						
	地盤工学特論	1後	2			○				2					
	土質改善学特論	2前	2			○				2					
	水利施設工学特論	1前	2			○				2					
	水利環境学特別演習Ⅰ	1前	1				○		1						
	水利環境学特別演習Ⅱ	1後	1				○		1						
	水利環境学特別演習Ⅲ	2前	1				○		1						
	水利環境学特別演習Ⅳ	2後	1				○		1						
	水利施設工学特別演習Ⅰ	2前	1				○			1					
	水利施設工学特別演習Ⅱ	2後	1				○			1					
	地盤工学特別演習Ⅰ	2前	1				○			1					
	地盤工学特別演習Ⅱ	2後	1				○			1					
	生産基盤工学大学院特別講義Ⅰ	1・2前		2			○								兼1 集中
	生産基盤工学大学院特別講義Ⅱ	1・2後		2			○								兼1 集中
	生産基盤工学特別研究Ⅰ	1前	2				○		3	2					
	生産基盤工学特別研究Ⅱ	1後	2				○		3	2					
	生産基盤工学特別研究Ⅲ	2前	2				○		3	2					
生産基盤工学特別研究Ⅳ	2後	2				○		3	2						
小計(19科目)	—	26	4			—		3	2	0	0	0		兼2	
専門教育科目・ 展開教育科目	農地環境管理学講座														
	土壌学特論	1後	2			○				1					
	農地工学特論	1前	2			○				1					
	環境情報学特論	1・2後	2			○			1						
	土壌肥沃度特論	1前	2			○			1						
	農地防災学特論	1前	2			○				1					
	農地環境管理学特別演習Ⅰ	1前	1				○		2	2					
	農地環境管理学特別演習Ⅱ	1後	1				○		2	2					
	農地環境管理学特別演習Ⅲ	2前	1				○		2	2					
	農地環境管理学特別演習Ⅳ	2後	1				○		2	2					
	農地環境管理学大学院特別講義Ⅰ	1・2前		2			○								兼1 集中
	農地環境管理学大学院特別講義Ⅱ	1・2後		2			○								兼1 集中
	農地環境管理学特別研究Ⅰ	1前	2				○		2	1					
	農地環境管理学特別研究Ⅱ	1後	2				○		2	1					
	農地環境管理学特別研究Ⅲ	2前	2				○		2	1					
農地環境管理学特別研究Ⅳ	2後	2				○		2	1						
小計(15科目)	—	22	4			—		2	2	0	0	0		兼2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目・展開教育科目	森林生産環境学講座															
	森林生態学特論	1前	2			○			1							
	森林環境工学特論	1前	2			○			1							
	森林環境保全学特論	2前	2			○				1						
	林木育種学特論	2前	2			○			1							
	樹木社会学特論	1前	2			○			1							
	森林生態学特別演習Ⅰ	1前	1				○		1							
	森林生態学特別演習Ⅱ	1後	1				○		1							
	森林環境工学特別演習	1後	1				○		1							
	森林環境保全学特別演習	1後	1				○			1						
	樹木社会学特別演習Ⅰ	1前	1				○		1							
	樹木社会学特別演習Ⅱ	1後	1				○		1							
	森林生産環境学大学院特別講義Ⅰ	1・2前	2			○									兼1	集中
	森林生産環境学大学院特別講義Ⅱ	1・2後	2			○									兼1	集中
	森林生産環境学特別研究Ⅰ	1前	2				○		2	1						
	森林生産環境学特別研究Ⅱ	1後	2				○		2	1						
	森林生産環境学特別研究Ⅲ	2前	2				○		2	1						
森林生産環境学特別研究Ⅳ	2後	2				○		2	1							
小計（17科目）	—	8	20			—		2	1	0	0	0		兼2		
専門教育科目・展開教育科目	亜熱帯動物学講座															
	亜熱帯動物学特論	1前	2			○			2	2						
	生体機構学特論	1前	2			○				1						
	動物生理学特論	1前	2			○			1							
	島嶼動物学特論	1前	2			○			1							
	昆虫管理学特論	1後	2			○				1						
	生体機構学特別演習Ⅰ	1前	1				○			1						
	生体機構学特別演習Ⅱ	1後	1				○			1						
	動物生理学特別演習Ⅰ	2前	1				○		1							
	動物生理学特別演習Ⅱ	2後	1				○		1							
	島嶼動物学特別演習Ⅰ	1前	1				○		1							
	島嶼動物学特別演習Ⅱ	1後	1				○		1							
	昆虫管理学特別演習Ⅰ	2前	1				○			1						
	昆虫管理学特別演習Ⅱ	2後	1				○			1						
	亜熱帯動物学大学院特別講義Ⅰ	1・2前	2			○									兼1	集中
	亜熱帯動物学大学院特別講義Ⅱ	1・2後	2			○									兼1	集中
	亜熱帯動物学特別研究Ⅰ	1前	2				○		2	2						
亜熱帯動物学特別研究Ⅱ	1後	2				○		2	2							
亜熱帯動物学特別研究Ⅲ	2前	2				○		2	2							
亜熱帯動物学特別研究Ⅳ	2後	2				○		2	2							
小計（19科目）	—	26	4			—		2	2	0	0	0		兼2		
専門教育科目	AdvancedCropProduction &Breeding(応用作物栽培育成学)	1・2前		2		○				1						
	情報学特論	1前		2		○			1							
	統計解析学特論	1前		2		○			1							
	フィールド特別実習Ⅰ	1前		1			○			1						
	フィールド特別実習Ⅱ	1後		1			○			1						
	熱帯生物資源学特論Ⅰ	1前		2		○									兼1	
	熱帯生物資源学特論Ⅱ	1前		2		○									兼1	
	熱帯森林資源学特論Ⅰ	1前		2		○									兼1	
	熱帯森林資源学特論Ⅱ	1前		2		○									兼1	
小計（9科目）	—	0	16			—		2	2	0	0	0		兼2		
合計（81科目）		—	86	48			—	8	6	0	0	0		兼10		
学位又は称号	修士（農学）		学位又は学科の分野				農学関係									